

生長の家総本山第397回龍宮住吉本宮団体参拝練成会プログラム

平成30年9月14日～17日

	第 1 日 目 9月14日 (金)	第 2 日 目 9月15日 (土)	第 3 日 目 9月16日 (日)	第 4 日 目 9月17日 (月)		
30						
5		起床放送…	起床放送…	起床放送…	5	
6	〔参加教区〕 旭川 64日(16人) 空知 52日(13人) 山梨 71日(18人) 長野 72日(18人) 滋賀 139日(35人) 京都第一 311日(78人) 愛媛 394日(99人) 高知 342日(86人) 沖縄 60日(15人) 合計 1505日(378人)	早朝行事……楠本行孝 (如意宝珠観) 組織会員祝福祈願祭 『大自然讃歌』 『万物調和六章経』 「すべては一体」と実感する祈り	早朝行事……板垣雅勝 (四無量心を行ずる神想観) 『万物調和六章経』 神の愛に感謝する祈り	早朝行事……日向光春 (神を讃える神想観) 聖經一斉読誦 『聖使命菩薩讃歌』 聖經『甘露の法雨』 『万物調和六章経』 神の無限生命をわが内に甦らせる祈り		6
7		室内献勞・朝食	朝食(6:20) ラジオ放送 「幸福への出発」拝聴	室内献勞・朝食	7	
8			奥津城へ移動	顕齋殿へ移動	40	
8			顕齋殿へ移動	練成参加悦びの発表	8	
9			【悦びの信仰生活】 体験発表	奥津城参拝の儀 聖經『甘露の法雨』		9
10			休 憩			50
10			講話……橋本定子 【“新しい文明”の基礎を築こう】 —低炭素のライフスタイルの実践 と普及のために— 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『人間・神の子は立憲主義の基礎』 『戦後の運動の変化について』	30 インターブ・リテーションを交えた 日時時計主義の実践	特別誓願券奉安の儀 『観世音菩薩讃歌』	10
11			休 憩		閉 会 式	11
11			講話……楠本行孝 【大自然に四無量心を行ずる】 『凡庸の唄』 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『この星で生きる』	下山 昼食(一汁一飯) 11:30	〔閉会式次第〕 閉会の挨拶……目等泰夫 決意の言葉… (教区教化部長) 聖歌「使命行進曲」	12
12		国旗掲揚(毎朝7時55分)	記念写真撮影 昼 食 (12:20)			12
PM 1	〔開会式次第〕 国歌斉唱 開会の祈り……目等泰夫 開会の挨拶……目等泰夫 教化部長挨拶… (教区教化部長)		顕齋殿へ移動 【信仰と生活の一致のために】 講話(45分間)……橋本定子 『凡庸の唄』 『この星で生きる』	(テ キ ス ト) 『凡庸の唄』 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『絵封筒がゆく』 『この星で生きる』 機関誌『生長の家』9月号 ブックレットシリーズ3 『人間・神の子は立憲主義の基礎』 ブックレットシリーズ4 『戦後の運動の変化について』	PM 1	
2		抜穂祭 『大自然讃歌』	P B S 演 習 (献 勞 を 含 む)		2	
3		霊宮へ移動 龍宮住吉霊宮参拝 温故資料館拝観 下山			3	
4	入 浴			〔 持 ち も の 〕 聖經四部 『大自然讃歌』 『観世音菩薩讃歌』 『万物調和六章経』 『日々の祈り』 神・自然・人間の大調和を祈る』 『生長の家聖歌歌詞』	4	
30	夕 食 国旗降下(毎夕4時30分)	入 浴・夕 食	入 浴・夕 食		5	
5					5	
20					6	
50	顕 齋 殿 へ 移 動				6	
6	聖 歌 合 唱				6	
10	開 会 式	顕 齋 殿 へ 移 動	顕 齋 殿 へ 移 動		10	
30	龍宮住吉本宮正統式参拝の儀 並びに誓願券授与の儀 『聖使命菩薩讃歌』 (天地一切と和解する祈り) 休 憩	浄心行 講話……目等泰夫 『大自然讃歌』 『観世音菩薩讃歌』 記 載 実 修 聖經『甘露の法雨』 『万物調和六章経』 天下無敵となる祈り	日時時計主義の実践 作品発表 ……前田智子 祈り合いの神想観 説明と実修 ……日向光春 『日々の祈り』 『万物調和六章経』 有情非情悉く兄弟姉妹と 悟る祈り		30	
7					7	
30					8	
45	講話……目等泰夫 【龍宮住吉本宮の御祭神 について】 『宗教はなぜ都会を離れるか?』 『戦後の運動の変化について』				8	
8					8	
45	特別誓願券の記載 神想観実修(教区ごと)				9	
9		就 寝 準 備	就 寝 準 備		9	
15		顕齋受付			9	
30	就 寝 準 備				9	

絵封筒・短歌・俳句などを
創作する際に使用する
筆ペン・絵の具・色鉛筆等は
各自用意をお願いします。